

# 品目：みずな

環境こだわり農産物の基準(5割以下の基準)

化学合成農薬(延べ使用成分数) 4成分以下

化学肥料(窒素分量) 7kg/10a以内

## 技術体系例 みずな

防除時期	生育ステージ		育苗		播種	生育期間中																	
	作付前	7~8月	育苗時			播種時	全般				生育初期		生育中期		生育後期								
防除方法・使用資材・薬剤名等	ほ場ローテーション	太陽熱消毒	セル育苗・無病培土の利用	雨よけハウス	防虫ネット	黄色灯	殺虫剤	捕殺	病害株の引き抜き	フェロモントラップ	性フェロモン(交信攪乱)	黄色粘着板	黄色灯	不織布・防虫ネット	殺虫剤	B T剤	B T剤	微生物殺菌剤	殺虫剤	B T剤	殺虫剤	殺虫剤	
立枯性病害	★	★	★	★				★															
白さび病								★															
軟腐病	★							★										★					
根こぶ病	★	★	★	★				★															
ヨトウムシ					★	★		★					★	★		★	★				★	●	
ハスモンヨトウ					★	★		★	★				★	★		★	★					●	
アオムシ					★			★					★	★		★	★		●	★		●	
コナガ					★					★			★	★		★	★		●	★	●	●	
ハイマダラノメイガ					★	★							★	★								●	
ハモグリバエ類					★							★	★						●*			●	
アブラムシ類					★								★	●									
キスジノミハムシ					★			●					★	●									
ネキリムシ類								●	★				★										
(例)使用農薬							ダイアジノン粒剤5			フェロデインSL	コナガコン				(モスピラン水溶剤)	ゼンタール顆粒水和剤	バシレックス水和剤	バイオキーパー水和剤	(カスケード乳剤)	トアロー水和剤CT	スピノエース顆粒水和剤	アフアーム乳剤	
化学合成農薬成分数							1								(1)				(1)		1	1	

注) ●: 薬剤防除対象病害虫、★: 天然資材または耕種的手法

農薬の登録は随時変更があるので、農薬の使用にあたっては、必ず農薬ラベルを確認し適正に使用する。

\*印のものは、登録の対象害虫等が限られているので登録を確認する。

ほ場周辺は除草剤を使用せず、草刈機による管理またはグランドカバープランツを植栽する。

病気 **苗立枯病** (なえたちがれびょう)

発生しやすい時期

8月下旬頃～9月中旬頃

原因 (発生要因)

- ・ 土にいるカビにより発生します。



立枯れ症状

対策 (減農薬技術)

- ・ 太陽熱消毒などの土壌消毒をおこないます。
- ・ 生育初期に水をやり過ぎないようにします。
- ・ 発病した株は早めに抜き取ります。

病気 **白さび病** →こまつなの頁を参照

害虫 **コナガ** →こまつなの頁を参照



コナガの成虫



コナガの幼虫